城北中学校・高等学校（男子校）

表現力・発信力を身につけて どんな分野でも活躍できる人に

城北中学校・高等学校の「私の主張コンクール」「理科自由研究」では、生徒のなかから生まれる自由な発想を、それぞれが独自の方法で表現・発信しています。

好奇心を持って向きあい自分ならではの表現を探る

数々の独自プログラムを通して生徒の主体性を育成している城北中学校・高等学校（以下、城北）。なかでも今回は、普段の生活だけでなく、将来にも活かされる表現力・発信力を養う取り組みをご紹介します。

広報企画部副部長の伊藤徹郎先生は、表現力や発信力の育成について、「大学や社会に出たとき、生徒たちは様々な人々と出会うでしょう。そういった場で主体性を持って行動するには、自分の意見を正しく伝える力が必須です。彼らが将来どんな分野に進んでも活躍できるよう、本校では中学校のうちから自分の考えを論理的にまとめ、他者に示していく機会を多く設けています」と話してくださいました。

この思いが強く表れているのが、「私の主張コンクール」と「理科自由研究」の２つです。「私の主張コンクール」は、生徒が普段考えていることを自由に「演題」として設定し、クラスメイトの前で論じる伝統行事です。中１は口頭、中２はスライドも活用して発表し、クラス予選で選ばれた生徒は講堂で行われる本選に出場します。

「大切なのはあくまで『私の主張』をすることです。ある事柄をただ紹介するのではなく、自身の考えを交えながら説得力を持って論じる力が求められます。また、なにを演題にするかも生徒の個性が出るところです。コンクールをきっかけに身の回りに目を向け、考え、自分なりの根拠を示しながら人に話す習慣を身につけてほしいです」（伊藤先生）

夏休みの「理科自由研究」では、生徒自身で研究テーマを決めて実験し、結果をレポートにして提出します。実験によって図や表、グラフ、写真など、「わかりやすいまとめ方」は異なるため、適した方法を検討して取り入れるのが重要です。教員はすべてのレポートに目を通し、金賞・銀賞・銅賞を選出します。金賞の生徒たちは内容をポスターにまとめて城北祭（文化祭）で掲示し、来場者から多くの票を集めた３名は「理科自由研究発表会」でスライド発表も行います。

なお中３では、これまで磨き上げてきた表現力・発信力の集大成として「卒業研究」にも挑戦します。１年間かけて研究を行い、レポートやプレゼンテーション資料にまとめ、最終的に全員が研究発表を披露します。中１の「理科自由研究」から３年間続けて同じテーマで研究する生徒もおり、なかには高校でも研究を継続し、難関国公立大学の総合型選抜で合格を得た生徒もいるそう。

「好奇心を持って物事を追究し、自分ならではの視点からその成果を発信できる生徒が多いのが城北の自慢です」と伊藤先生。自身の経験や興味関心をもとに学びを深める生徒たちの今後の活躍が期待されます。

【タイアップ記事】

Johoku Junior & Senior High School

受賞者のお二人にインタビュー

「私の主張コンクール」で本選出場、「理科自由研究」で金賞（物理）に選ばれた近藤文治さん（中２）と、「理科自由研究」で金賞（地学）に選ばれた上野開都さん（中１）にお話をうかがいました。

※学年は取材時点

私の主張コンクール

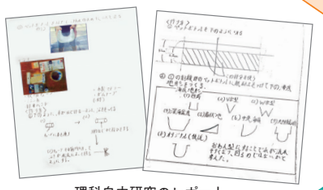
生徒が自由に演題を設定し、自身の「主張」を発表します。予選で選ばれた14名が本選に出場します。

私の主張コンクール

そうだ、博多へ行こう

博多までの移動手段として飛行機と新幹線を比較し、「新幹線の方がよい」という主張をしました。まず、比較するのに、かかる金額や時間の差が重要だと思い、具体的な数字を示すために「城北から博多に行く」ことを想定しながら調べました。金額は新幹線が圧倒的に安いのでその点を強調し、一方、時間においては飛行機の方が速いので、反論として「新幹線では景色を見ている時間も観光になる」という意見を論じました。

発表では原稿をただ読むのではなく、抑揚をつけたり、身振り手振りを交えたりしました。クラス予選では１票差で２位だったので、来年こそは１位を獲って本選に出たいです。



理科自由研究のレポート

中1 上野 開都さん

私の主張コンクール

銭湯のススメ

僕の主張はシンプルに、「銭湯に行こう」というものです。現代は多くの人の家にお風呂があり、「550円もかけて銭湯に行く意味はないのでは？」と思うかもしれません。しかし、ゆっくり湯船に浸かることで健康促進効果があったり、地域の人との交流の場になったり、じつは色々な付加価値が期待できるんです。

発表の際には、口頭で説明すべきこと、図や写真を使って見せるべきことを検討して使い分けました。本選にも出場したのですが、やはり観客が多いと緊張しました(笑)。でも聞き手には楽しんで聞いてほしかったので、スムーズに話せるよう練習し、途中でジョークを挟んだりもしました。

中2 近藤 文治さん

私の主張コンクールの賞状とメダル

理科自由研究

渦潮と海底地形の関係

徳島県の鳴門市を観光した際、渦潮を見に行きました。そのときに「この下ってどんな地形なのかな」と思い、調べることに決めました。海底地形の模型を８種類作って水槽に沈め、水流によって「浮き」がどう動くかで、どんな地形に流れが発生しやすいかを観察、点数化して比較しました。結果がわかりやすいよう、レポートでは表やグラフを交えてまとめました。

金賞だと聞いたときにはとても驚きました。城北祭（文化祭）のポスター発表ではもともと20枚ぐらいだったレポートを模造紙１枚にまとめるのに苦労しました。字を見やすいように書いたり、たくさん色を使ったり、目につきやすいデザインを心がけました。

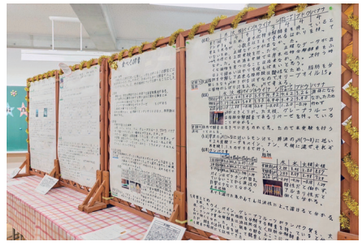
理科自由研究

～エッグドロップ～ ３階から卵を落としても割れないケース

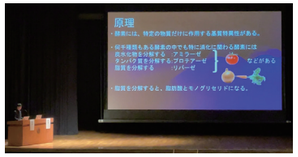
自転車で買いものに行ったとき、バッグのなかで卵が割れてしまっていたんです。どうしたら割れないのかを考えていた際、高い場所から卵を落としても割れないケースを作る「エッグドロップ®」という競技を知りました。実験では厚紙で機体（ケース）を８種類作ってベランダから落として検証しました。レポートには写真や滞空時間を載せて、落ちていく様子が伝わるようにしました。

「理科自由研究発表会」では実際に卵を落としてみせたところ、「おー！」と声があがったので、効果的だったと思います（笑）。他校と合同の研究発表会にも出場しましたが、内容も発表の仕方も学べる点が多く、とても刺激になりました。

理科自由研究



夏休みに各自で研究を行いレポートにまとめます。金賞受賞者は城北祭（文化祭）でポスター発表にも挑戦。



学校説明会（要予約）
５月10日(土)　５月17日(土)
６月７日(土)　６月14日(土)
学校見学ツアー（要予約）
５月24日(土)　５月31日(土)
６月14日(土)　６月28日(土)
入試説明会（要予約）
11月23日(日祝)　11月24日(月振)

※詳細は事前に学校HPにてご確認ください

所在地：東京都板橋区東新町2-28-1
アクセス：東武東上線「上板橋駅」徒歩10分、地下鉄有楽町線・副都心線「小竹向原駅」徒歩20分
ＴＥＬ：03-3956-3157
ＵＲＬ：https://www.johoku.ac.jp/

※「中学受験　サクセス12　5･6月号 2025」より転載